

徒然なる日記121013～再会すること～

E-book推進協会

再会すること

妻と再会した。思いがけず得た機会だった。再会をただただうれしく思った。

再会するたびに早く単身赴任の生活から同居生活に戻りたいという思いが強まる。離れた暮らしに慣れるかと思ったが寂しさは募っていくばかりだ。

再び一緒に暮らすために、すべきことが何であるかを深く考える。越えるべきハードルは多い。しかし、自分で選んだ道、文句は言えない。自分が未熟で至らないことによる結果だ。真摯に受け止め精進するしかない。

そもそも寂しいと言っていること自体、甘い、ぬるい考えだろう。でも正直な気持ちは想像以上の寂しさだ。

再会した瞬間、うれしくて思わず笑顔になる。同時に、この時間はあと24時間もないんだなとか、もう離れる時間のストップウォッチを押している。そして、その離れるときを思い寂しさがふつつつとこみ上げる。

結局、世の中にいろんな生活スタイルがあるが自分には単身赴任は合わないと感じた。そして、その別居生活はまもなく1年を迎える。

ふがいなさ、寂しさをばねに夢をつかんで帰ろう。妻のもとに。その日まで、今はやるしかない。

2012年10月13日記す